

理事長挨拶



学校法人国士館 理事長
大澤 英雄

おおさわ ひでお

1936年北海道生まれ。1960年国士館大学体育学部卒業

1960年本学に入職、1981年体育学部教授、1992年から2001年まで同学部学部長、2003年から2006年まで国士館大学学長

2006年本学名誉教授、学校法人国士館常任理事、2008年6月から学校法人国士館副理事長を務め、2009年4月学校法人国士館理事長に就任

1998年全日本大学サッカー連盟理事長、1992年日本サッカー協会理事、2004年全国体育系大学・学長学部長会会長、2008年から全日本大学サッカー連盟顧問、2014年から一般財団法人関東大学サッカー連盟会長

2009年から全国体育スポーツ系大学協議会理事、2012年から日本私立大学協会理事

国士館は1917(大正6)年に「私塾国士館」として創立されて以来、一貫して「文武両道」に秀でた人間形成を重視する教育を行ってまいりました。1958年に国士館大学が開校されると同時に体育学部が設置され、以来、学園内外の方々の厚いご支援により、大学7学部・大学院10研究科および中学校、高等学校を擁する総合学園として発展してまいりました。

「世のため、人のために尽くす人材」の養成を旨とし、創立から97年を経て、表現方法は時代と共に変化を遂げてまいりましたが、その根底にあるのは「他への献身」という考え方です。これは、真心を持って人に尽くすことであり、私が学生時代に、本学創立者の柴田徳次郎先生が学生に対して深い愛情をもって教を説く姿から学んだことであります。本学が教育理念として掲げている四徳目「誠意・勤労・見識・気魄」の実践により、人材育成をはからんとした創立者の思いを、現代のニーズに合わせて伝えていくことが、継承者である私たちに課せられた使命であると考えます。一世紀前に創立者が掲げた理念は、今も脈々と受け継がれており、その一例として国士館は現在、キャンパス周辺地域と連携した防災拠点としての機能強化と防災教育を始めています。

本学園は、2017年に創立100周年を迎えます。この大きな節目を迎えるにあたり、学園として総合的な記念事業を計画し、さまざまな改革を進めております。梅ヶ丘校舎の開設、メイプルセンチュリーホールの開館など教育施設の総合整備や経営学部をはじめとする学科・研究科の新設・再編など、変革する時代のニーズにかなう教育・研究環境の整備を進めてまいりました。現在は「国士館百年史」編纂事業のほか、各種プロジェクトによる100周年記念事業を推進しております。今後とも新たな歴史の創造に向けて邁進してまいります。

■ 創立100周年記念事業を推進—ロゴマークを制定

学校法人国士館は、2017年の創立100周年に向け、記念事業を総合的に審議する「国士館創立100周年記念事業委員会」を設置するとともに、担当課とプロジェクトチームを設け、記念事業を推進していきます。このたび当事業を広く周知するため、スローガンとロゴマークのほか、100周年キャラクター「KOKUSHIBA(コクシバ)」を制定しました。スローガン「人と社会を支える力」は、「世のため、人のために尽くす人材の育成」を教育理念とする国士館の使命が表現されています。いずれも、創立100周年を契機とするあらゆるコミュニケーションを図るためのツールとして、さまざまな場面で展開されていきます。



■ 2014年4月より体育学科に「スポーツトレーナーコース」を新設

体育学部体育学科では、既存の「学校体育コース」「アスリートコース」に加え、2014年4月から新たに「スポーツトレーナーコース」を設置しました。2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まるなど、スポーツへの注目度が高まるなかアスリートやプロのチームを支えるトレーナーの必要性が高まっています。「スポーツトレーナーコース」では、世界で認められているNSCA(National Strength and Conditioning Association)などの資格を取得し、スポーツ界や社会体育分野で活躍する人材を育成します。



■ 格付評価は昨年につき「AA-」／「安定的」を取得

学校法人国士館は、2014年4月22日付けで株式会社日本格付研究所(JCR)より、昨年に引き続き長期発行体格付による「AA-(ダブルAマイナス)」の格付を取得し、格付の見直しは「安定的」と評価されました。「AA-」は、10等級ある格付の上から2番目(AAレンジ)に位置し、「債務履行の確実性は非常に高い」とされています。本法人は、今後も教育・研究の質の向上に努め、社会に積極的な貢献を果たすため一層の努力を続けてまいります。

